令和　3　年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)　　自己評価

事務事業番号	24

担当課	都市整備課	担当課長	井上 英貴
事業担当者	桑代 司	一次評価者	阿部 哲也
事業区分	継続事業	事務事業評価の履歴	有
事務事業名	道路新設改良事業		
予算科目	8 款 2 項 3 目		
予算事業名	道路新設改良費		
総合計画での位置づけ（施策名）	便利な都市環境をつくる		
事業の性格	自治事務		
法令根拠等	道路法・道路構造令等		
事業の対象	町道利用者		
事業の目的	未舗装、幅員狭小など不便な道路の拡幅・改良を行うことにより、町民の生活利便性向上、および道路交通の円滑化を図ること。		
実施期間 開始年度	平成 26 年度から		
実施期間 終了年度	令和 年度まで		
事業の内容	未舗装道路の舗装、幅員拡幅等の道路改良		

目的達成の指標（成果指標）

計画に沿った効率的な工事施工の達成度合い

区分 年度	単位	2 年度	3 年度	4 年度	5年度
目標	%	100	100	100	100
実績	%	100	100		

指標設定の考え方	工事の適正な施工により道路機能が向上し、交通の円滑化および町民の生活利便性向上に繋がるため。計画通り効率的に施工できれば100とする。
計画時の懸案事項	道路を新設する場合は、既存施設との取り合いが生じるため事前調査および設計が重要となる。
計画時の懸案事項への対応	現地測量および写真撮影などを事前に行い、施工業者と現場立会で懸念事項を共有し対応していく。また交差点改良・道路拡幅などの大きな工事計画のものについては町財政と協議しながら引き続き業務委託を実施する予算取得に努める。

PLAN（計画）

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額　273 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。（千円）

項目		2 年度予算	3 年度予算	4 年度予算	5 年度予算
事務量	① 人工数	0.1	0.17	0.17	0.17
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,898	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費（①×②－③）	765	1,220	1,342	1,342
事業費	直接事業費	21,320	1,300	31,300	32,600
	人件費	765	1,220	1,342	1,342
	合計	22,085	2,520	32,642	33,942
財源内訳	国庫支出金			11373	15,000
	県支出金				
	地方債			10200	13,500
	その他				
	一般財源	22,085	2,520	11,069	5,442
	合計	22,085	2,520	32,642	33,942

事業費計画

（千円）

区分／年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
目標	21,320	1,300	31,300	32,600	32,600
実績	21,307	1,276			

事業活動の実績（活動指標）

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
道路改良工事	件	1	1	2	2
		1	1		
道路改良調査設計業務	件	1			1
		1			

DO（実施）

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額　267 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。（千円）

項目		2 年度決算	3 年度予算	3 年度決算	4 年度予算
事務量	① 人工数	0.1	0.17	0.17	0.17
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,022	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費（①×②－③）	765	1,220	1,193	1,342
事業費	直接事業費	21,307	1,300	1,276	31,300
	人件費	765	1,220	1,193	1,342
	合計	22,072	2,520	2,469	32,642
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	11373
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	10200
	その他	0	0	0	0
	一般財源	22,072	2,520	2,469	11,069
	合計	22,072	2,520	2,469	32,642

実施備忘録

CHECK（評価）

No.3

自己評価

評価者	桑代　司

5段階評価で評点を付けます。
5　大 ←→ 小　1　↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
☑ 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
☑ 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	5	
☑ 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
☑ 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
☑ 町が実施主体となることが法令等により定められている。 **※該当する場合は左の□にチェックしてください。**		
☑ 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	5	A
☑ 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	5	
☑ 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	5	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
☑ 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A
☑ 事業の手法・活動内容は適切である。	5	
☑ 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	5	
②効率性		
☑ 事業費に見合った成果を上げている。	5	A
☑ 外部委託等（指定管理者を含む）による効率化が図られている。	5	
☑ 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	5	
③公平性・透明性		
☑ 受益者負担について課題はない。（または、受益者負担を求めることが適当でない。）	5	A
☑ 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	5	
☑ ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
☑ A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）	
□ B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）	
□ C見直し	
□ D廃止	
□ E完了	

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

4. 自己評価の理由（必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から）

本事業は主に町民等が利用する道路の整備を行う事業であり、道路の殆どは町が維持管理する町道であるため、事業そのものの必要性・町による実施の必要性ともに非常に高い。町民の要望に基づき、現場に最も適切な施工方法を検討した上で事業に当っているため、有効性・効率性ともに高い。道路改良は住民だけでなく通過交通の利用があること、本事業は現在補助事業等の対象となっていないこと、周知にあたっては、紙媒体やウェブより有効な利害関係人への具体的説明を心掛けて施工を進めることができたため、公平性・透明性においても高いと評価した。

5. 成果実績の評価（今後の方向性等について具体的に）と課題認識

住民要望に沿った計画と現場状況に合った施工により、町民の生活利便性向上および道路交通の円滑化を図るという目的をほぼ達成することができた。今後の課題としては、事業の性質上構造物の設置・改良を多く行うことになるため、事前に専門家による設計をしっかり行っておくことが肝要と考える。また、今後大規模な事業を計画する場合は補助金や起債の利用を併用しつつ町財政の重点的な配分が必要になる。

CHECK（評価）

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価

評価者	阿部　哲也

5段階評価で評点を付けます。
5　大 ←→ 小　1　↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
☑ 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
☑ 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	5	
☑ 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
☑ 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
☑ 町が実施主体となることが法令等により定められている。　※該当する場合は左の□にチェックしてください。		
☑ 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	5	A
☑ 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	5	
☑ 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	5	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
☑ 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A
☑ 事業の手法・活動内容は適切である。	5	
☑ 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	5	
②効率性		
☑ 事業費に見合った成果を上げている。	5	A
☑ 外部委託等（指定管理者を含む）による効率化が図られている。	5	
☑ 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	5	
③公平性・透明性		
☑ 受益者負担について課題はない。（または、受益者負担を求めることが適当でない。）	5	A
☑ 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	5	
☑ ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

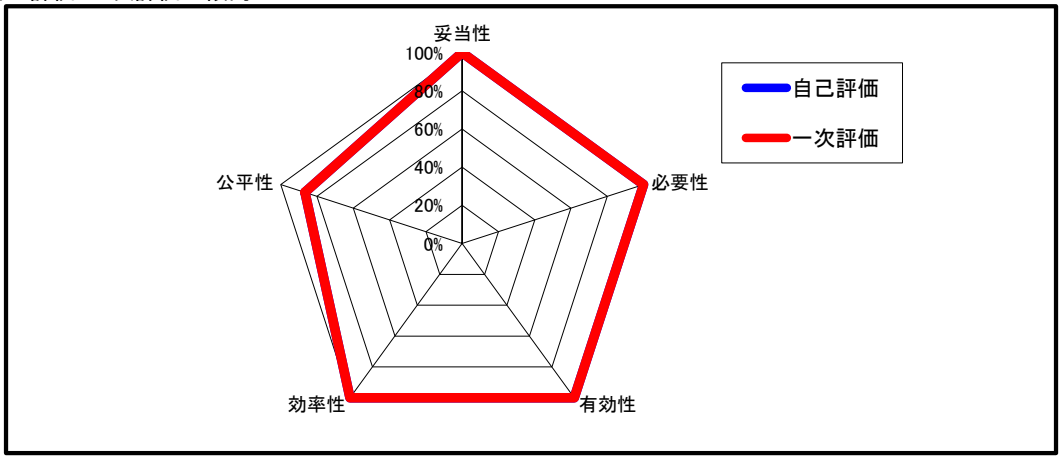
今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
☑ A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）	
□ B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）	
□ C見直し	
□ D廃止	
□ E完了	

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

一次評価の理由（今後の方向性等について具体的に）

道路は、町民に一番身近で生活に直結した公共施設であるため、使用する方達が安心・安全に使用できるように整備し、適切に維持管理を行っていかなければならない。このため今後も適切な計画を立て、必要箇所の整備を実施していくものである。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION（評価・改善）

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.5

二次評価

評価者	井上　英貴

☑ A以下の点について良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。

本事業は、町民の生活に密着した生活道路の新設及び改良整備を行う事業であり、計画している事業については早期の実施が望まれる。また、事業の重要性から国の交付金等の活用も必要と考える。

□ B計画どおり、現状のまま事業を継続する。

□ C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するため計画の見直しを行う。

□ D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。

月　　日
開催予定

□ E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。

□ 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
月　　日
までに提出すること。

□ 評価終了
□ 外部評価へ

ACTION（評価・改善）

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.6

外部評価

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□	A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
□	B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
□	C見直し
□	D廃止
□	E完了

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

評価		外部評価委員の意見

経営者会議

経営者評価	町長

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□	A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
□	B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
□	C見直し
□	D廃止
□	E完了

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

評価		経営者会議の結果

令和　5　年度予算要求事項（今後の取り組み）